

# 森林資源循環利用構想策定演習

演習地の法規制、地形・地質等に関する情報

2012年10月9日

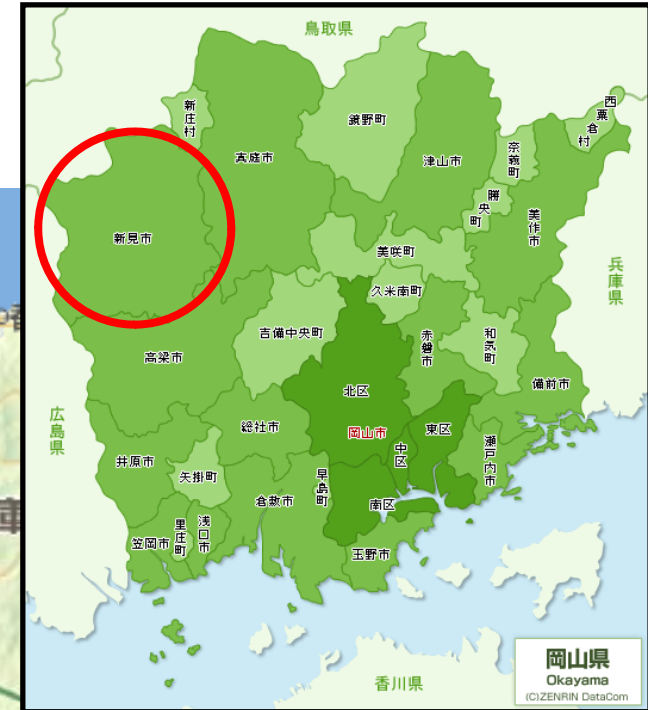
准フォレスター研修 近畿中国ブロック

# 演習地の位置(岡山県新見市)


















演習地(古谷国有林)

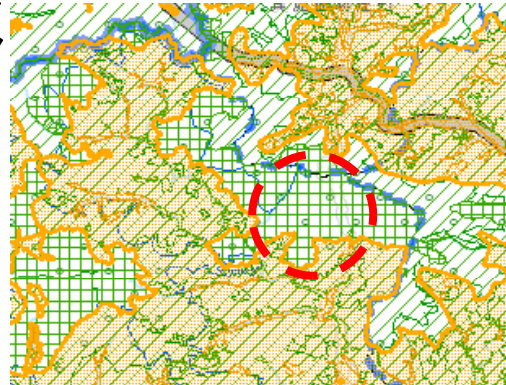


研修実施場所(新見市)

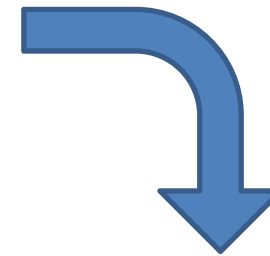


# 法令制限等の情報

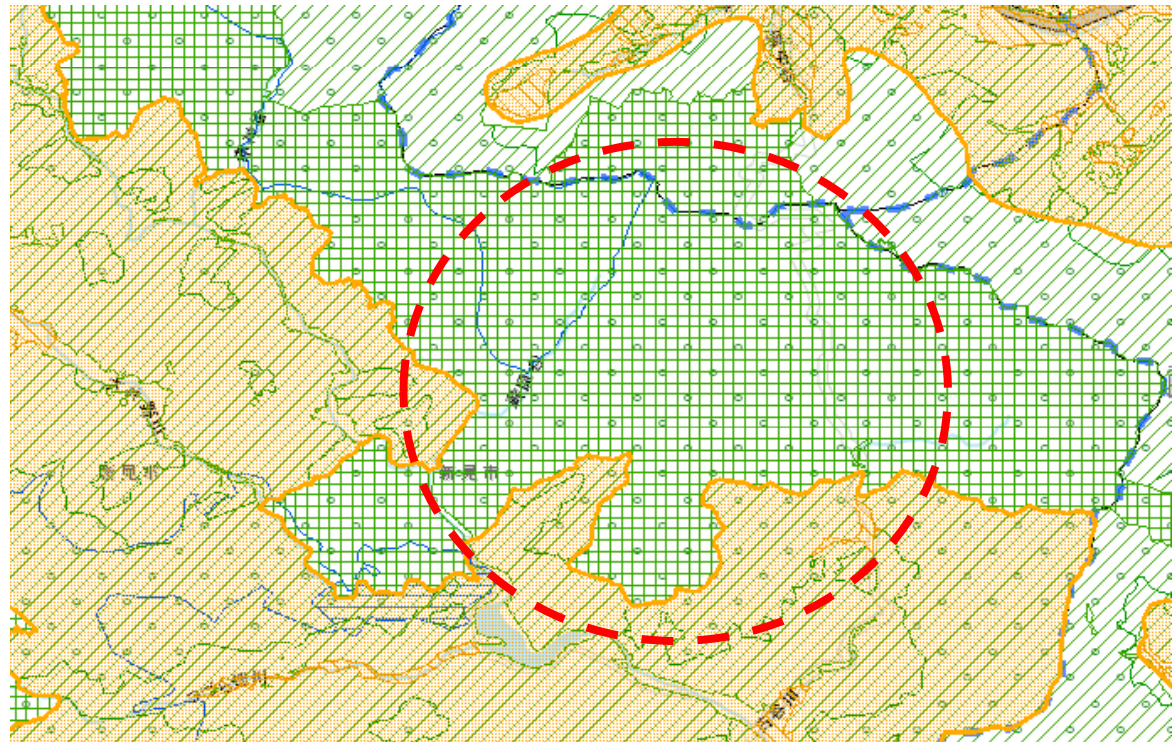
-  都市地域
-  市街化区域
-  市街化調整区域
-  その他の用途地域
-  農業地域
-  農用地区域
-  森林地域
-  国有林
-  地域森林計画対象森林
-  保安林
-  自然公園地域
-  特別地域
-  特別保護地区
-  自然保全地域
-  原生自然環境保全地域
-  特別地区
-  行政界



1/200000



1/50000

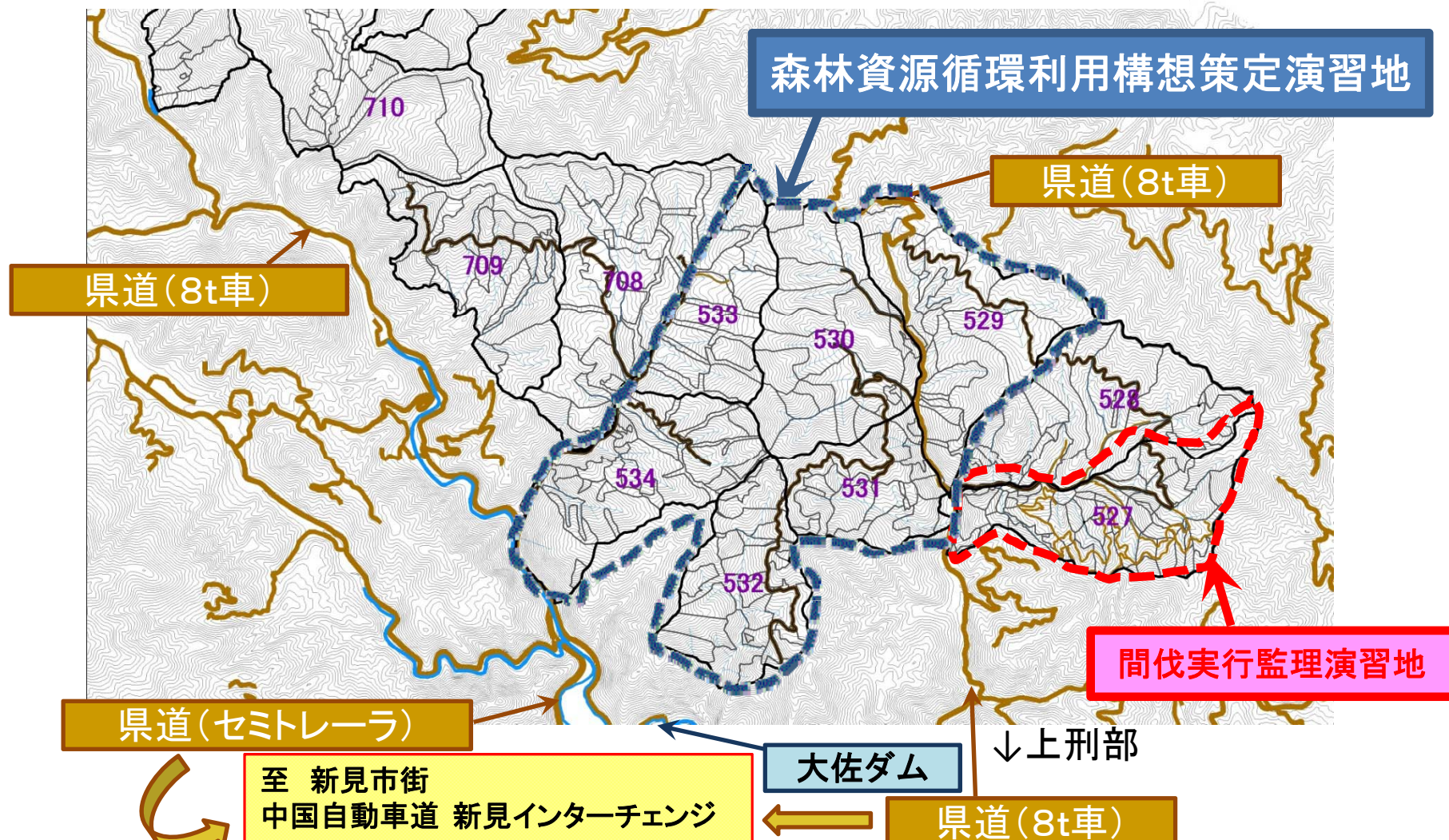


出典: 土地利用基本図(国土交通省)

## 法令等

- ① 演習地は水源涵養保安林の指定を受けている。
- ② 演習地内に自然公園、自然環境保全地域の指定はない。
- ③ 演習地内に山地災害危険地区の指定はない。

# 社会的・生活環境に係わる施設に関する情報

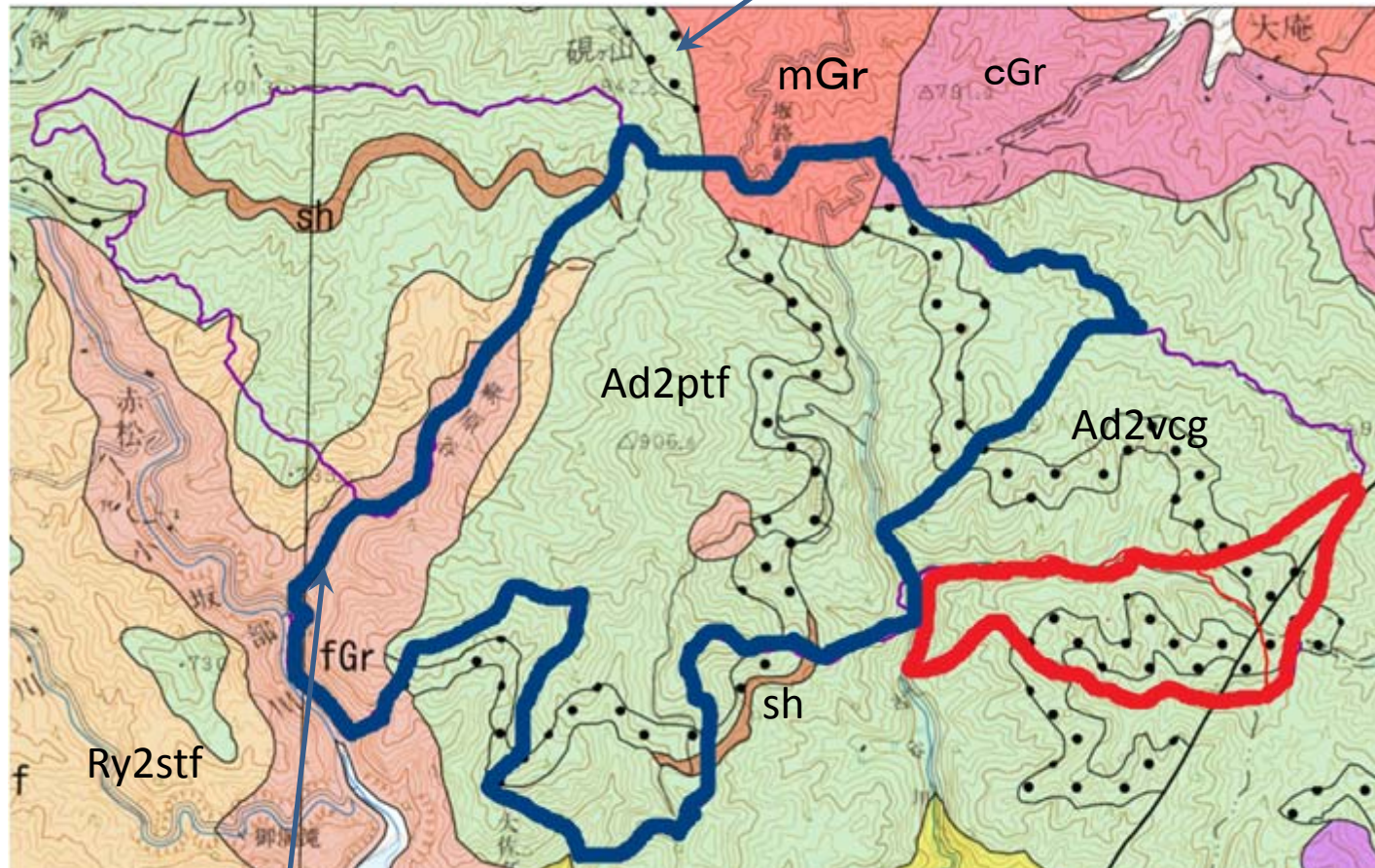


- ① 演習地(531林班)の南端から約2km南に上刑部の集落があり、演習地の南端の下流約1kmに簡易水道の取水地がある。
- ② 演習地(534林班)の南端から約1.5km南に多目的ダムである大佐ダムがある。  
(洪水調節、農業用水、発電)

# 地形・地質、気象の特徴

硯ヶ山

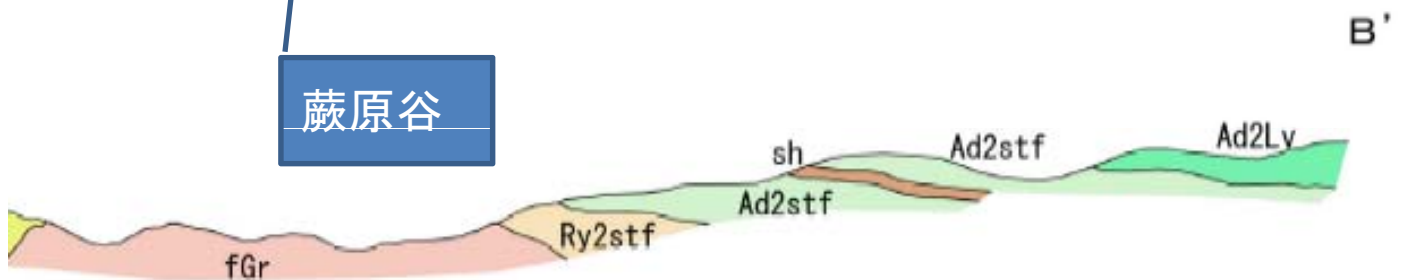
国土地理院(表層地質図 新見)



- 間伐実行監視演習
- 森林資源循環利用構想

cGr: 粗粒花崗岩類  
 mGr: 中粒花崗岩類  
 fGr: 細粒花崗岩類  
 Ry2stf: 流紋岩質  
         凝灰岩(挟在する頁岩)  
 Ad2ptf: 安山岩質凝灰岩  
         (火砕流凝灰岩)  
 Ad2vcg: 安山岩火山岩  
         礫凝灰岩(挟在する頁岩)  
 Sh: 頁岩

葦原谷



## 地形

- ① 演習地は、中国山地に属する中起伏山地である。
- ② 硯ヶ山を中心として900～1000mの山頂部を分水界として、大佐ダム湖の流域に属する。
- ③ 演習地内の溪流の溪床勾配は比較的急で、やや深いV字谷を刻んでいる。

## 表層地質

- ① 演習地は、安山岩質凝灰岩地帯と花崗岩地帯に大別され、花崗岩地帯は安山岩地帯よりも低地にみられる。
- ② 安山岩質凝灰岩は、火山の噴出に由来し、岩質は緻密で堅硬である。板状に節理が発達しているものもあり、褶曲作用により節理の方向が90度近くになっているものもある。
- ③ 安山岩質凝灰岩地帯では、頁岩が挟在する場合もある。頁岩は風化を受けると黄褐色を帯びやすい。
- ④ 蕨原谷周辺は、細粒花崗岩、その周りには流紋岩質凝灰岩がみられる。
- ⑤ 演習地の大部分は火山噴出物であるため、表土は粘性分が高い。

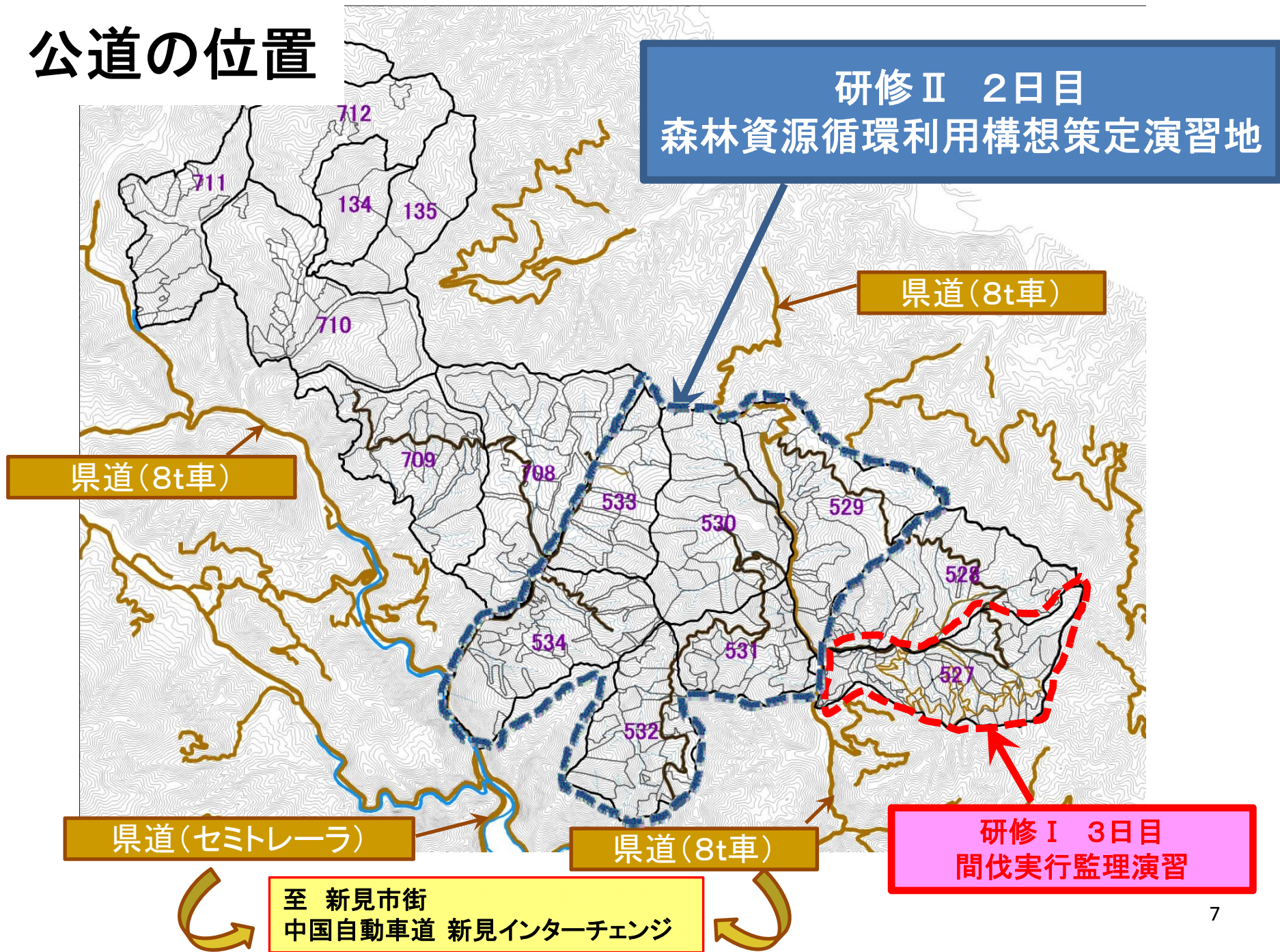
## 気象条件

- ① アメダス観測地点(千屋 標高525m)の平均降水量は1,726mmである。
- ② 12月から3月の最低気温の平均値は、-1.9～-4.2度である。

## 希少種の生息

- ① 天然記念物であるオオサンショウウオが新見市のある高梁川水系上流域、標高300m～500mに生息
- ② 河川を横断する80cm程度の高さの障害物があると遡上が困難となるため、堰堤や護岸工事が生息環境に影響

# 公道の位置



研修Ⅱ 2日目  
森林資源循環利用構想策定演習地

県道(8t車)

県道(8t車)

県道(セミトレーラ)

県道(8t車)

研修Ⅰ 3日目  
間伐実行監理演習

至 新見市街  
中国自動車道 新見インターチェンジ